

経営理念

より安全で快適な社会作りに全力で貢献する
技術を磨き、誠実にものづくりを行う
全社員が相互に物心両面での幸せを追求する



To Our Shareholders 株主の皆さまへ



この度、2024年1月1日に発生した令和6年能登半島地震の影響により、被害に遭われた地域の皆さまに心よりお見舞い申し上げます。

被災された皆さまの生活が一日も早く平穏に復することをお祈り申し上げます。

株主の皆さまには、平素より格別のお引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。

当社の属する建設業界におきましては、公共建設投資は恒久的な取り組みとして策定された国土強靱化実施中期計画に基づき、防災・減災を中心に増加傾向にあり、民間需要では消費者のライフスタイルやニーズの変化に伴う都市圏での住宅、商業施設等の大規模開発や地方における半導体関連工場の新設が進められるとともに、環境に対する意識の高まりを受けた再生可能エネルギー施設への設備投資も増加しています。

その一方で、常態化する建設現場での人材不足や高齢化、円安に起因した資材、エネルギー価格の上昇に伴う幅広い分野での値上げの動きが継続されるなか、世界的に急務な課題となっている温室効果ガスの削減など引き続き注視が必要な状況となっています。

このような経営環境のなか当社は、原材料の高騰に対処するための価格適正化や、人材不足の解決に向けた新製品の開発、脱炭素社会の実現に向けた新たな製造技術への取り組みを進めるとともに、お客様との円滑なリレーションを目的とした社内オペレーションシステムのDX化を推進してまいりました。

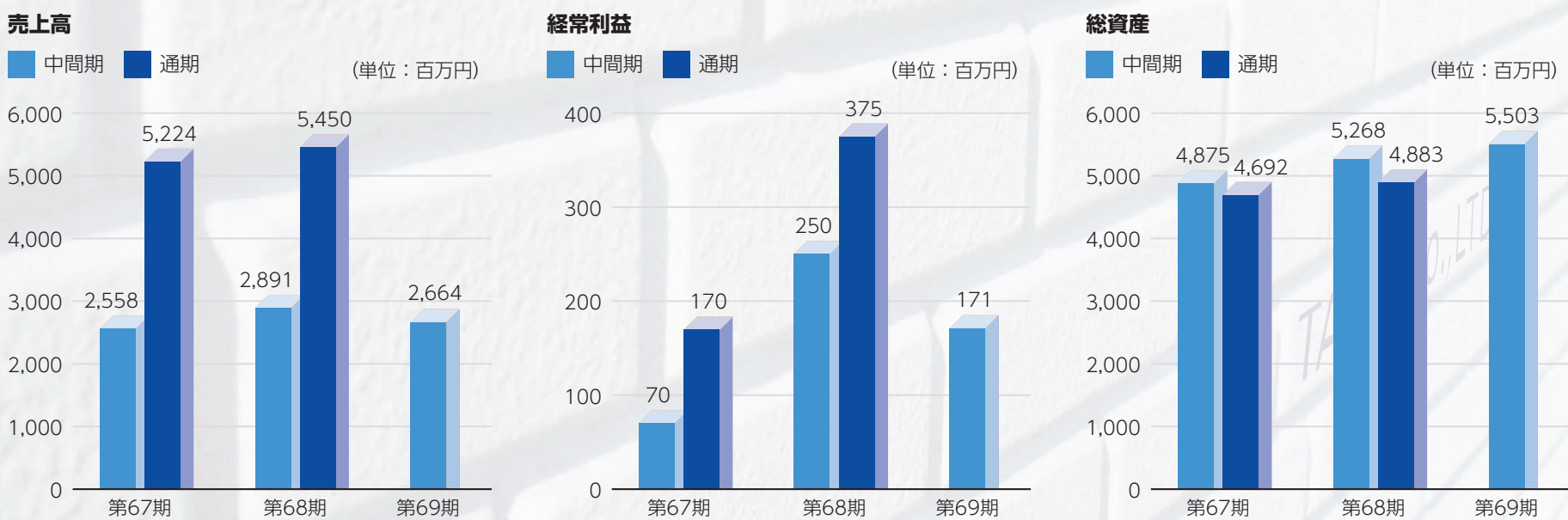
この結果、当中間期の業績は売上高26億6千4百万円（前年同期比7.8%減）となりました。利益面では営業利益1億6千8百万円（前年同期比17.6%減）、経常利益1億7千1百万円（前年同期比31.7%減）、中間純利益は1億8百万円（前年同期比24.5%減）となりました。

株主の皆さまにおかれましては、今後とも格別のご支援、ご鞭撻を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

2024年3月

株式会社武井工業所
代表取締役 武井 厚

第69期中間期財務ハイライト



貸借対照表

(単位：千円)

科目	前期末 2023年6月30日	第69期中間期末 2023年6月30日
流動資産	2,364,245	2,913,489
固定資産	2,519,357	2,590,121
資産合計	4,883,602	5,503,610
流動負債	1,935,360	2,347,507
固定負債	683,723	791,211
負債合計	2,619,083	3,138,718
純資産合計	2,264,519	2,364,891
負債・純資産合計	4,883,602	5,503,610

Point

当中間期のポイント

建設業界の環境は、依然として深刻な人手不足や資材価格の高騰による影響への対応で厳しい状況が続いています。

そのようななか、公共事業は、埼玉県の市道改修工事や鹿行地区の道路改修工事等の大型物件もあり、68期中間期並みの受注を確保することができました。また熱中症対策や人手不足による工事進捗の遅れもみられましたが、出荷量は68期中間期並みの実績となりました。

民間工事では前期末から続く茨城県内の圏央道・つくばエクスプレス沿線を中心とした物流施設や宅地造成工事等の開発工事が進められ、シキール・ツメール・カクセール等の当社オリジナル製品の需要が高まり、受注は好調に推移しました。

販売価格についても、高騰し続ける原材料費を販売原価に反映する取り組みを行い、お客様のご理解ご協力をいただきながら進めることで、一定の成果を上げることができました。

今後も、原材料の値上げの予想や2024年建設業・運送業の労働時間規制問題など引き続き対応が必要なものもあるため、当社オリジナル製品の開発や社内オペレーションの向上を目指した取り組みを行いながら、他社との差別化を図り、より充実したサービスをお客様に提供してまいります。

トピックス

製品

フリードレーン博多到達！

フリードレーン博多到達記念



当社の主力製品である函渠型側溝フリードレーンが2022年11月に累計出荷本数654,285本を達成しました！
 2000年（平成12年）に販売開始後、足掛け20有余年での出荷総延長は1,265kmになります。これは当社本社のあるJR常磐線石岡駅を発し、東京駅を經由した東海道・山陽新幹線の終点博多駅までの距離とほぼ同じです。
 この間、当社の業績の苦しい時代を支えるだけでなく、公共から民間へとという新たな市場の開拓に大きく貢献した救世主。
 2023年12月末現在でもご好評いただいております。フリードレーンの総出荷本数は693,290本、出荷総延長は1,337.5kmとなり、日本列島の長さの約40%相当に匹敵する本数を出荷しています。
 これからも多様化する市場のニーズを取り込み、種類を増やしながらいより価値のある商品開発を続けてまいります。フリードレーンのみならず、今後も様々な製品の活躍にご期待ください。

インフラ長寿命化事業

今回はコンクリート箱桁の内部点検の紹介です。コンクリート箱桁とは、内部に空洞を有する橋桁構造であり、その特殊な形状のため内部へ立ち入って劣化のリスクを確認する必要があります。

対象となった橋桁は、内部の高さが約3m、幅が約5m、長さが数十mにも及び大きなもので、外部からは見えない箇所であるため、内部点検には十分な計画と注意が必要でした。

点検作業に際しては、暗所かつ密閉空間であり作業場の安全を確保するため、点検前の酸素濃度の確認は欠かせません。強力なライトと脚立を持ち込み、箱桁内の目視による点検を実施し構造物の安全を確認することができました。

橋梁点検は社会の安全を確保するために不可欠であり、法令に基づき5年に一度の頻度で実施されます。2019年度から始まった2巡目の点検では、初回と比較して新たに修繕が必要な橋梁も確認されました。点検後に補修された橋梁も見られたため、安全性の確保という面で十分な成果を得られたものと考えています。

現在の日本の橋梁の内43%が架設から50年以上経過している中で、橋梁をはじめとした交通インフラ長寿命化のニーズは今後も増えていくものと予想されます。私たち武井工業所はこれからも身に付けた技術を駆使し、橋梁点検や調査業務を通じてより安全で快適な社会作りに貢献してまいります。



脱炭素社会実現に向けて

本社駐車場に「ソーラーカーポート」を設置しました！



創業100周年目となる2039年をカーボンニュートラル達成目標として掲げ歩み始めた当社が、敷地面積が広く、周辺に高い構造物もない好条件な本社駐車場に、カーポートの屋根に太陽光パネルが搭載された「ソーラーカーポート」を設置しました。

今回設置したソーラーカーポートが発電する電力は完全自社消費型です。本社使用電力量の約60%以上を太陽光発電にて賄うことで、CO₂排出量抑制に貢献できます。

また、災害等による停電時には非常電源として利用できるため、日中発電が行われている場合であれば電気が使える緊急避難場所として活用が可能となります。

当社は地球環境を保護する一環として、エネルギーの効率的な利用と環境に優しい再生可能エネルギーの導入を推進しています。

今後も、脱炭素社会実現に向けて、企業としての社会的な責任を果たすとともに、環境に配慮し、持続可能な地球作りに貢献できるよう、取り組みを続けてまいります。

当社のコミットメントロゴのご紹介

名峰筑波山の水系が流れ込む霞ヶ浦にて伝統漁法を現代に伝える帆引き舟をあしらった当社の“コミットメントロゴ”には、多くの種類の魚や水生植物を育み、冬には渡り鳥が飛来するなど豊かな自然に恵まれた霞ヶ浦の自然を守り、後世に受け渡す決意が込められています



インド進出の進捗状況



当社インド事業の拠点であるオーランガバードは冬を迎えています。朝は15℃以下、日中は30℃前後と日本の冬と比べるととても過ごしやすい気候になっています。

工場では約280名が製造に従事し、製造量・出荷量とも一日当たり300トンまで増加しています。製造品目は重量が10トンを超えるボックスカルバートや分割式T形擁壁、ムンバイ～アーメダバード間の高速鉄道に用いる遮音壁、道路脇で使用されるU字溝や蓋など多岐にわたっています。

広大な国土を有するインドでは、出荷先が日本では考えられないほど遠方になることもあり、工場から1,400km離れたハリヤーナー州の現場へ日本の自動車会社が建設を進める工場向けのU字溝を出荷しています。この現場は、距離が遠いといったことに加え道路事情が悪く、当初は輸送中に製品が破損するトラブルに頭を悩まされましたが、工夫を凝らしながら製品を納入しています。

また工場内の製造工程の見直しによる効率化や施設内の安全対策に力を入れ、安心・安全なまちづくりに資する高品質な製品を提供することで、インドの発展を全力でサポートしてまいります。

今後とも当社のインド事業にご期待ください。

Jリーグ水戸ホーリーホックと合同研修会を実施！



当社とオフィシャルパートナー契約を結んでいる、水戸ホーリーホックが定期的に行っているクラブ独自の知識習得・人材育成研修プログラムである「Make Value Project」に当社社員が参加しました。

第一線で活躍するプロスポーツ選手との交流の中で様々な価値観や考え方に触れ、多様化する時代に対応できる人材育成の場として良い機会となりました。

今後も人材育成に力を注ぎ、社員と共に組織が成長し続けることで、当社の経営理念を着実に実現してまいります。

SNSにて情報を発信しています。

当社ではSNSを使った情報発信を行なっています。各部署から選ばれた若手社員が、様々な目線から当社の活動について発信をしています。武井工業所の“今”がわかる内容となっていますので、この機会にぜひご確認・フォローをお願いします。

ホームページ

武井工業所



Facebook



X (旧Twitter)



インスタグラム



会社概要

[2023年12月31日現在]

商号	株式会社武井工業所
創業	1939年7月
設立	1956年4月
資本金	100,000,000円
発行可能株式総数	12,000,000株
発行済株式の総数	3,542,000株
事業所等	
本社	茨城県石岡市若松一丁目3番26号
工場	明野工場 (茨城県筑西市) 小川工場 (茨城県小美玉市) 岩瀬工場 (茨城県桜川市) 栃木工場 (栃木県下野市)
営業所	東関東営業部水戸営業課 (本社内) 東関東営業部つくば営業課 (本社内) 東関東営業部鹿行営業課 (茨城県鹿嶋市) 西関東営業部西関東営業課 (栃木県下野市)
従業員数	202名 (男 187名、女 15名)

株主メモ

事業年度	7月1日から翌年6月30日まで
定時株主総会	毎年9月開催
基準日	1. 毎年6月30日 2. 中間配当を実施する場合は12月31日 3. そのほか、必要あるときはあらかじめ公告して定めた日
単元株式数	1,000株
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同郵送先	〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-232-711 (通話料無料)
公告の方法	電子公告 (やむを得ない事由がある場合は日本経済新聞に掲載して行います)
URL	https://www.takei21.co.jp/



見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。